

# ふちゅう歴史散歩

Vol. 72

## 南宮神社の 隨身門と隨身像



隨身門の片側の内部



南宮神社の隨身門

栗柄町の南宮神社は、国府の南を守ったとされ、9世紀に創建されたと伝えられる大変歴史の長い神社です。本殿には平安時代から鎌倉時代（12～13世紀）に製作された非常に貴重な神像なども残されています。南宮神社の隨身門は、江戸時代初めの17世紀中頃から後半に再建されました。神道での隨身とは、神を守る者という意味があります。この門の中には、隨身像が大小2組の合計4体があります。

1組は、浅い彫り口やほぼ直立する姿から、平安時代末の12世紀後半に作られた像です。もう1組は、写実的な表現から、鎌倉時代に入った13世紀前半から中頃に作られた像です。本殿の神像と併せて、歴史的・芸術的な価値から、国の重要文化財になることが決定しています。

ふと疑問に思うのは、1つの門の中に、大小2組の合計4体もの像があることです。その理由は、かつては門が2か所に存在し、それぞれに像が置かれていたと考えられ、「門が2つあった」という、地元の言い伝えの裏付けにもなっています。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

## ふちゅう Sai 発見!

高校生編 その32

シンポジウムに参加して

私たち地歴部は、備後国府について府中を中心にフィールドワークをしてきましたが、今回のシンポジウムに参加して、国府についての理解を深めることができました。

パネルディスカッションでは、「国府とは何か」「史跡に指定されたことはどのようなことなのか」など、多くの人が思っている点について詳しい説明がありました。このことを私たち地歴部が、周りの人たちに伝えていこうと思います。これからも府中の地理・歴史を調べていきます。

地歴部 小川真聖



投稿者  
(文と写真)

府中高校1年生 (左から)  
飯田直明くん、高田幸輝くん、  
仲野弘晃くん、小川真聖くん



備後国府衣装体験



古代の遊び投壺

平成29年4月1日(1223)号

## 広報ふちゅう

(毎月1日発行)



ご意見、ご感想をお寄せください。

編集発行：府中市人事秘書課

〒726-8601 広島県府中市府川町315

☎0847-43-7111 (代表)

☎0847-43-7194 (広報担当)

HP <http://www.city.fuchu.hiroshima.jp/>

HP 《携帯版》 <http://city-fuchu-m.plimo.jp/>

※右のQRコードからアドレスを読み取ることができます。